

税金のバトン

松浦そら（山梨・大月市立大月東中学校）

所得税、法人税、消費税…。生活の中で次々と課される税金の必要性に、ずっと疑問を抱いていました。しかし私の生活は税金による様々な制度に支えられていることを知り、その役割の大きさとありがたさを実感しました。

私は今、入院しています。小学生の頃から手術や入退院を繰り返してきました。本来なら巨額の医療費がかかりますが、子ども医療費助成制度によりそのほとんどが税金によって助成されます。また私はひとり親家庭で、ひとり親医療費助成制度も受けています。もしこれらの制度が無かったら母の負担は計り知れません。日々の生活を営むことに精一杯で、今のように治療を受けることなどできなかつたと思います。私の生活は税金のおかげで成り立っています。

この他にも、例えば病気になったらすぐに診察にかかれたり、緊急な処置が必要な時には救急車で運んでもらえたりするのも、税金によって医療費が援助されているおかげです。もし税金が無かったら医療費が出せずに失われてしまう命が多くあったと思います。普段の生活の中で税金の影響について意識することは少ないですが、税金による様々な援助やそれによって成り立っている生活が、あたり前として私達に浸透していることに改めて感謝したいと思います。

私は今、幸せです。家族や医師、看護師に支えられて日々生活しています。しかし、それだけではありません。この生活の裏には、顔も知らないたくさんの方による、税金という力があります。皆さんの大切なお金と温かな支援を無駄にすることがないように、これからも一生懸命治療に励みたいと思います。そしていつか就職して社会の一員となった時には、ここにいるような病気と闘う子ども達や支えてくださった高齢者をはじめ、共に生きる誰かのために税金を納めたいです。そうして私達を支えてくれた税金のバトンを次に繋いでいくことが、私にできる恩返しだと思っています。